

羅針盤

平成30年度第8号（通算298号）

平成30年12月21日（金）発行

岡山県総合教育センター

Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

学校の授業研究で得られた成果を、 日々の授業づくりにつなげましょう

校内研修担当の
先生方へ
(主に小中学校)

子供の確かな学力を育成するためには、これまでに積み重ねてきた研究授業や研究協議会で明らかになった効果的な取組を、日々の授業改善に生かすことが大切です。研究のまとめをするこの時期に、授業研究で得られた成果と課題を明らかにし、3学期の重点的な取組について共通理解を図った上で、教員一人一人の授業づくりにつなげていきましょう。

授業づくり
につなげる
ポイント！



Point 1 授業研究の成果と課題を明らかにする

研究主題や指導仮説に基づいた一つ一つの研究授業と研究協議を振り返り、成果と課題を明らかにすることが大切です。

そのためには、研究主題や指導仮説に沿って研究授業や研究協議を総括し、目指す子供像の実現状況や効果的な取組をまとめる必要があります。

校内研修担当者会などを中心に年間を通じた授業研究における成果と課題について話し合ってみましょう。



Point 2 3学期の重点的な取組を学校全体で共通理解する

3学期には更なる授業改善を図るために、明らかになった成果と課題を踏まえ、実効性のある取組を進めていくことが大切です。

そのためには、学校全体で重点的な取組を共通理解し、その取組を教員一人一人が自らの授業づくりで徹底していくことが必要です。

また、学力・学習状況調査結果から見えてきた自校の課題の改善状況を把握し、学年内に課題解消を図る一体的な取組にしていくことも大切です。



Point 3 教員一人一人の具体的な授業づくりにつなげる

教員一人一人の具体的な授業づくりにつなげるためには、それぞれが指導する教科・領域、単元や題材などにおいて、何をどのように取り組んでいくのかを設定することが効果的です。

例えば、右のような「自分化シート」を活用して、具体的な改善方法を単元計画なども含めて記述し、明日からの授業づくりの見通しをもつことが考えられます。



自分化シート（例）

【自分化シート】

氏名()

1 3学期の重点的な取組

2 教科・領域等について

(1) 教科・領域.....()

(2) 単元・題材.....()

3 取組内容について

単元を通して、何をどのように取り組むのか具体的に記述する。

次年度の取組

今年度のまとめ



2月頃には今回まとめた成果と課題に加えて、教員一人一人の授業改善がどう進んだのかを教員や子供を対象としたアンケートなどから把握し、次年度の方針や重点的な取組、研究主題などについて検討しましょう。